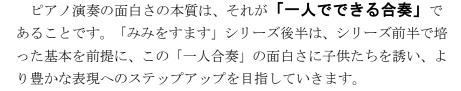
ピアノとソルフェージュの本

「みみをすます」 党 第2回

うたう心と考える指を育てよう



和音、音階、指返し、保持音、アルペッジョ、片手複声など、様々な技術が導入され、情報量が増えてくるこの段階で最も必要なことはなんでしょうか? それは「鳴らない音楽」と「弾かない練習」を充実させること、言い換えれば「アナリーゼ」と「行動企画」です。

そんなムズカシイこと…と思われるかも知れませんが、

実はこれはムズカシくない。そしてとても面白い。

なアイディアをお話したいと思います。

つまりこれは想像の領域であり、実際の演奏と違い、時間的な拘束を 受けずにいくらでも遊んでよいからです。そして、ここでの **豊かなイメージ作り**は必ず演奏によい影響をもたらします。

情報処理に追われて弾くことが楽しめない事態がおこりやすいこ の段階でのレッスンについて、筆者から、作曲家ならではのさまざま





- ◎ 両手奏を鏡像から導入する意味
- ◎ 重みの「入・脱」と和声の原理
- ◎ 和音が内包するさまざまな可能性
- ◎「分析的読譜」から「自力練習」へ
- ◎「一人合奏」の面白さ





桐朋学園大学作曲科卒業。桐朋女子中·高等学校教諭、桐朋学園大学附属音楽教室講師を歴任。その間、演劇、ミュージカル、TV 番組など様々なジャンルの音楽を手がけるほか、ピアノ奏者として多くの室内楽コンサートに出演。また、音楽雑誌への執筆や書き下ろし作品の提供も行う。各種音楽団体の委嘱による作品提供も多数あり、その作品は海外でも演奏され好評を得ている。2005年、日本吹奏楽指導者協会最優秀作曲賞(下谷賞)を受賞。現在、桐朋学園大学非常勤講師(ソルフェージュ)。日本ソルフェージュ研究協議会会員。

上田女子短期大学 幼児教育学科教授。

●日 時

●テキスト

ピアノとソルフェージュの本「みみをすます 3」 ピアノとソルフェージュの本「みみをすます 4」

(音楽之友社)※当日、会場でも販売いたします

●会 場

お問合わせ・お申込み先

●受講料(税込)

●使用機材

ピアノ 、 ホワイトボード

キリトリ線

町田育弥公開講座

年月日()

ピアノとソルフェージュの本 「みみをすます」

申込書

彳	亍	F	Α	X	΄.

申込日 月 日

お名前		
ご住所	₸	
TEL		FAX
E-Mail		
種別	会員・ 一般	